

## 特集

# 新しい時代に向けて これからの教師を探る

今、大きな変化のうねりの中に置かれている高校。

高大接続、アクティブラーニング、ICT活用、グローバル教育、学習指導要領の改訂、選挙権の拡大…テーマにこと欠くことはありません。

明治維新以来の教育改革と言われる今回の高大接続改革。

これまでの教育の成果が今日の日本の礎を担ってきたとすれば、

新しい時代を切り拓く力を育むこれからの教育のあり方を

学校を機軸として、社会全体で深慮して取り組んでいくことが、

大切なメッセージとして投げ掛けられているのではないのでしょうか。

取材や講演を通じて、多くの先生方との出会いがあります。

共通して浮かぶのは「チャレンジ」「巻き込む力」というキーワード。

ベテランから若手の先生まで、アクティブラーナーとして学び続け、

校内外を問わず、必要な人とつながって巻き込んでいくエネルギー。

社会へのトランジションを視野に、先生同士が教科を越え、

学校という組織を越え、そして地域を越えてつながっています。

中教審の教員養成部会において、

「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」の

「中間まとめ」が発表されています（平成27年7月16日）。

新しい時代に向けて、教師に何が求められているのでしょうか？

社会で必要な力を、どのように育んでいけばいいのでしょうか？

本特集が考えていただくきっかけとしてお役に立てば幸いです。

山下真司(本誌 編集長)

